図書館だより

3月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	⑦	8	9	10	11	12
13	⑭	15	16	17	18	19
20	㉑	㉒	23	24	25	26
27	㉘	29	30	㉛		

○印　休館日
月曜日・祝日（22日）
月末館内整理（31日）

三月や廊の花ふむ薄草履　　蛇笏

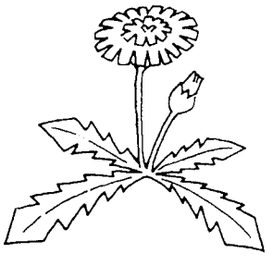
三月は仲春の月であり、この月なかばになるとめっきり暖かくなってくる。暑さ寒さも彼岸までと言い、また、関西では奈良のお水取（十三日）や比良八講（陰暦二月二十四日）の日が過ぎぬと暖かくならぬなどと言っている。

（『最新俳句歳時記』より）

今月の新刊図書案内

♥一般図書

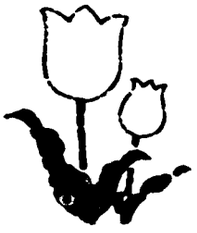
現代人の死生観　田代俊孝
人間における運の研究　渡部昇一
〈非知〉へ　吉本隆明ほか
肥後細川藩幕末秘聞　河津武俊
父吉田茂　麻生和子
昭和天皇と侍医長の死　畑村達
大阪学　大谷晃一
日本の進路を問う　長谷川慶太郎
青年よ故郷に帰って市長になろう
全国青年市長会
一九九四年日本経済はこう変わる
日本興業銀行調査部
サラリーマンは永遠に不滅です。
青木茂
新しい女　アグネス・チャン
お嫁さんに読ませる本　鈴木健二
日本の子守唄　松永伍一
目から脳に抜ける話　養老孟司
はるかな記憶上・下
カール・セーガン
病院はおもしろい　芹沢茂登子
左利きは危険がいっぱい
スタンレー・コレン
こんな眼にあったら　山下悠一
新・食品添加物とつきあう法
増尾清



くすりのすべて，94　主婦の友社
酒つくり自由化宣言　穂積忠彦
子育てごはんわたし流　奥薗寿子
よい子に育てたい内藤寿七郎ほか
人が集まるテーマパークの秘密
伊藤正視
富士眩耀　白籏史朗
きっと完走できるマラソンBOOK
小松美冬
一歳児からの楽しい
スキーレッスン　日下哉
ジーコのリーダー論　ジーコ
日本語大博物館　紀田順一郎
司馬遼太郎がゆく　中島誠
昭和の名句集一〇〇冊　梅里書房
アムリタ　上・下　吉本ばなな
文学少女　林真理子
一九三四年冬―乱歩　久世光彦
恋愛論　森瑤子
心の鏡　ダニエル・キイス
落花飛鳥エレミール・ブールジュ
依頼人　ジョン・グリシャム
死の舞踏　スティーヴン・キング
外一三五冊

♥児童図書

野の天文学者―前原寅吉
憲法と政治のしくみ
まいごのアザラシをたすけて！
ビッグ・グリーン・ブック
草花をそだてよう
音をつくってあそぼう
ポンコツUFO同乗記
あしたがみえるめがね
手にことばをのせて
動物お断り、こどもお断り
アボンリーへの道
アニーとおばあちゃん
こねこちゃんはどこへ
だくちるだくちる
たなかさんちのおひっこし
なかよしのくまさん
外一一三冊



心の健康シリーズ（11）

子供にとって家庭はどうあるべきでしょうか

子供が生まれてから一人前の生活ができる様になるためには、家庭や学校、友達や社会における集団でのくらしが必要です。とりわけ最初に属する家族とのつき合いが一番大きな影響を与えます。

○家庭は学習する場です

学習するといっても国語や算数の様な教科学習という狭い意味でなく、生活全体に必要なことを学ぶ広い意味の学習です。

子供は、優れた学習能力をもって親や家族のすることの他、教えようとしないこと、教えたくないこと迄も知らず知らずの内に学習してしまいます。特に興味をもったことに対しては、学ぶ能力は一段と発揮されます。

○家庭は役割を自覚する場です

家庭は集団生活のもっとも基本的なものです。祖父母、父母、兄弟、姉妹など年令や性別の異なる人が一緒に暮らし、それぞれ役割を自覚し、父は父として、母は母とし、子供は子供としてのそれぞれの立場や役割をもって、お互い支え合い、協力し合って生活しているのです。それがもし、一人でも役割が果たせなくなった場合、支え合い、協力の均衡が破れ、まとまりが欠けてしまいます。家族のひとりひとりが役割を果たしてこそ、円満な家庭の生活があるのです。

特に基本になるのは夫婦の関係であり、その姿が子供に与える影響はとても大きいものがあります。

○家庭は困難に立ち向う場です

外から見ると何一つ問題のない様に見えても、内では色々な問題を抱えているのが多くの家庭の姿だと思います。それが決定的となる前に家庭で力を合わせ、困難を解決しているのです。他人のせいにしたり、他人にすがる前に自分の家庭内で精一杯努力することが家族ひとりひとりを成長させることになります。逆境に育ったことがその人を立派にしたことは、よく聞く話です。

○家庭が教育の
もっとも大切な場です

今、子供の教育というと、小さい時から保育施設や各種学校、塾などに依存し、それぞれの機能を果たしており、その重要性はだれもが認識しているところですが、しかし、なんといっても子供の人間形成にとって根本的な役割を果たすのは家庭です。

しかし、最近は家庭の根本的役割を金によって他人にまかせている様な責任転嫁の考えの人が多くなっている様に感じられます。

家庭は子供にとって心のふるさとです。子供の教育の第一責任者であることを自覚し、子供の育成にあたって欲しいと思います。